|  |  |
| --- | --- |
| 現代文2018年度  第4回　　「井伏鱒二の目線で考える。」 | 作成者：小倉・濱部  実施日：2018.10.22  　　　　　　　　(月曜日) |

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 【単元の目的】  生徒が、  ①小説に対して様々な解釈を認め、  ②自分なりの読む楽しさに納得感を持つ　　ようになる。  【今回の授業のねらい】＊単元の目的達成のために、今回はどんな学びを生み出したいのか？  　　　　　　　　　　　＊各回のステップ( ⅰ)~ⅵ)で表していたもの)をもとに入れてください！  ・ⅲ)全員を納得させるような読みを探さなくていいんだということに気付き、無理に正解を求めない、という行為を受け入れる。  ⅳ)他の人はどうしてそのような読みをしたのかに興味を持ち、理解を示す。  対象者（生徒・クラスの現状予想。テーマへの関心など。）  ＊以下は、単元の目的や今回の授業で取り組むことの視点を踏まえて書きましょう！  生徒の現状  ・本文を読んで、内容を読み取る力はもともとついている。(先生より)  ・6人×4班、5人×2班　の計6班  クラスの雰囲気  ・普段、先生からの問いかけ、呼びかけへの反応は良い。  テーマへの関心 | 【今回の目標】　＊今回の授業のねらいを達成するには、生徒が何を完了すれば良いのか？  ・作品の「外観」について自分なりの視点で読み直し、問いを立てることができる。  ・他の人の考えに興味を持ち、それについて一緒に考えようとする。  評価の観点と方法（目標と対応するように）  ＊完了度合いを何で測るのか？何をもって完了と見なすか？  ・物語の「外観」に関する問いを自分で立て、ワークシートに書くことができる。(個人)  ・  ・自分の考えを根拠に従って説明する  準備物など  ・ワークシート　(個人用×生徒数、班用×6)  その他 |

**タイムライン（計　40　/ 　45　分）**。＊曜日によって持てる時間が変わるので注意！　(月金土:45分　木:40分)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成 | 時間（分） | 活動内容 | 各活動のねらい | 予想される生徒の様子 | 大学生の対応 | 備考 |
| 導入 | 4分 | ・新しい大学生の自己紹介  ・目的の確認  　〇色々な解釈に触れ、  　〇”自分なりの読み”を楽しむ。  ・今回やることの説明  ♦今までとの違い  (1)本文を読む視点が「山椒魚」「蛙」から**「作者」**に変わること。  (2)自分たちで問いを立てること。 | ・各回同士の繋がり、一貫している目的を生徒に意識してもらう。 |  | ・後ろに待機 | ＜板書＞  ファシリが説明中に「全8回の目的」と、今回からのテーマ「**作者**の視点で考える」を後ろに書いておく。 |
| ワーク① | 18分 | ＜ポイントの説明＞(3分)  **①表現に関して**  「なぜここでこの 比喩表現/単語 を使ったのか。」など  **②物語の構成に関して**  「なぜ物語をこういう終わらせ方にしたのか。」「なぜそもそも主人公が山椒魚なのか。」など  **③その他**  - - - - - - - - - -  ・作品の外観に関して問いを出す。  ・出した疑問に対してまずは”自分なり”に答えを考えて埋める。  - - - - - - - - -  この繰り返しを、時間の許す限り何問でもやって良い。 | ＜位置づけ＞  　ワークの形式としては第3回と同じく「他者の解釈に触れる」ことではあるが、本文を読む視点を「作者」に変えることでまた新たな疑問や、文学作品としてのおもしろさも見えてくる。そしてその疑問に対する考えも、人によって違うことが見えてくる面白さというのが第4~5回のポイント。第5回が他者と語り合う時間なので、今回は自分で物語をもう一度新しい視点で読むことがメインになる。 | ＊机は全員前向き。  ・物語を「作者」の視点で読み直しながら、ワークシートに思い浮かんだ「問い」と、それに対する「”自分なり”の答え」を記入していく。(個人) | ・思考を邪魔しない程度に机間巡視しながら、手が止まっている生徒には  「どういう風に物語を読み直せば良いのか、イメージが湧いたかどうか」から確認を取ってあげる。イメージできていなかった場合は、他にも例を挙げながら個別に説明。 | ・山椒魚→井伏の気持ちにチェンジ「井伏鱒二がなぜこう書いたのか～」  ↑を生徒が「面白い」と思えるように投げかけたい。  ・問いは、どの場面からでも・いくつでも出しても良い。 |
| ワーク② | 10分 | ・共有しながら、班用のワークシートにまとめていく。（10分） | ・自分は、  (1)この物語のどこが気になったのか  (2)それに対してどう解釈したのか  が人に説明できるように、言葉にする練習という意味も込めて「共有」としている。 | ・班で自分が立てた問いと  それに対する、現段階の自分の答えを発表する。  ・それに対して思ったことを、班員は自由にコメントする。  ・(書記)ワークシートにまとめる。班員からのコメントは色ペンでわかるようにしておく。 | 班を回ってアドバイス  →大学生の投げかけの説明  ・「答えを一つに決めるのがゴールではない」ということを意識しながら話し合いに少しずつ入る。 | ・話し合いを始める前に、班で書記係を決めるように促すと良いかも。  ＊班用のワークシートだけ回収！！ |
| 振り返り | 5分 | 今日の振り返りを記入する。  (個人用ワークシート末尾) | ・物語を「作者目線で」読んでみた感想  ・自分で立てた問い・他の人が立てた問いに触れてみてどう思ったか。 | 振り返りの欄に記入。  (個人用ワークシート末尾) |  |  |
| まとめ | 3分 | ・今日やったこと、考えてみてほしかったことを大学生がまとめる。  ・第5回の説明  →「答えはない」ことの強調 | ・目的と、今日やったことの繋がりを生徒に意識してもらう。 | ・話を聞く |  |  |